

株主のみなさまへ

第84期 報 告 書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで



人材育成を強化

2007年3月、本社隣接地に「人材育成センター」を竣工し、同年4月より運用を開始しました。本組織は「ものづくりの原理・原則や基本技能の習得」をはじめ、「マネジメント力強化」や「グローバルに活躍できる人材の育成」など、アイシングループの人材育成を体系的・効率的に推進することをねらいとしています。

そのために、ものづくりの現場で将来リーダーとなる人材を育成する全寮制の企業内学校「アイシ高等学園」の教育を主体に、新入社員から管理者層までの階層別研修や、技能・事務・技術系共通のマネジメント教育など、グループ各社に共通する教育を当センターに集約して強化します。

また、海外の子会社からの研修生の受け入れ体制を拡充し、海外事業拡大を支える人材の育成強化を加速させます。

アイシは今後も、高度で広範な技術や高い技能を持ち、世界に通用する人材の育成に力を注ぎ、世界のトップブランドをめざします。



人材育成センター

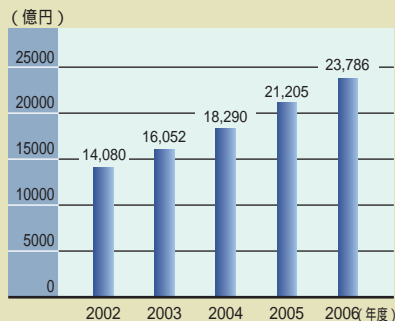


人材育成センター内部の実習施設

財務ハイライト

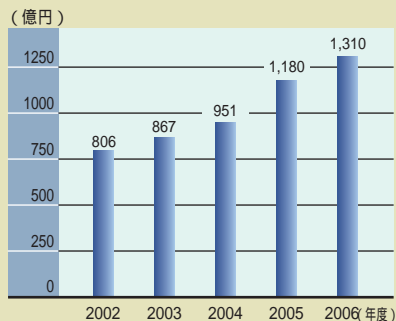
売上高

23,786億円(前期比 12.2%増)



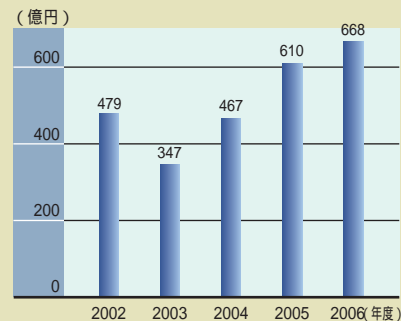
営業利益

1,310億円(前期比 11.0%増)



当期純利益

668億円(前期比 9.5%増)





取締役会長
豊田 幹司郎

取締役社長
山内 康仁

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第84期報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当期(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)の売上高は2兆3,786億円と前期に比べ12.2%の増収となりました。利益面では、経常利益は前期に比べ7.3%増の1,342億円となりました。当期純利益は、前期に比べ9.5%増の668億円となりました。

期末配当金につきましては、1株につき24円とさせていただきます。これにより、当期の配当金は、昨年11月の中間配当金1株につき16円とあわせ、年間としては前期に比べ8円増配の1株につき40円となります。

原油・原材料価格の高騰や為替変動、さらにグローバル競争の激化など、依然として多くの不安定要素や課題を抱えており、企業を取り巻く環境は、未だ不透明な状況にあります。

このようななかで、当企業グループは、足もとの課題

に的確に対処するとともに、グループの総力を結集して、新たな成長に向けた取り組みを加速し、世界のトップブランドをめざしていきます。そのため、引き続きお客様に「信頼と感動」をお届けする新商品の開発に全力を注ぐとともに、ものづくりの力の向上に努めていきます。また、国内をはじめ、北米や欧州、アジアなどでの生産・開発・販売体制のさらなる拡充により、グローバルな供給ネットワークを整備し、世界各地域でのお客様からの要請に迅速に応えられる体制を構築していきます。

さらに、社会から信頼される企業として、「第4次環境取り組みプラン」に基づく環境保全5ヵ年計画の着実な推進により、環境のトップランナーをめざすとともに、地域発展や自然保護、青少年の育成に重点を置いた企業市民活動、公正で透明性の高い企業行動を絶えず心掛け、社会との調和ある成長と社業の発展に努めていきます。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月

ユーザーニーズに即した商品開発力で多彩な事業を展開

多様化するユーザーニーズに的確に応え信頼を獲得するため、グループ各社が得意分野を活かした技術開発体制で、魅力ある商品の創出に積極的に取り組んでいます。

自動車関連製品

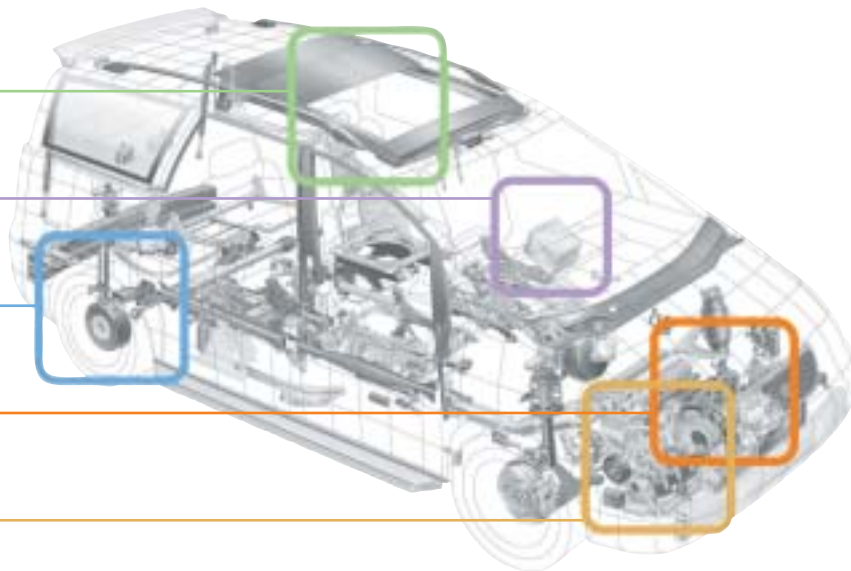
ボディ関連

情報関連他

ブレーキ及びシャシー関連

ドライブトレイン関連

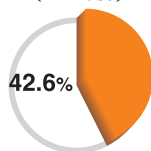
エンジン関連



ドライブトレイン関連

オートマチックトランスミッション(AT)	無段変速機(CVT)
マニュアルトランスミッション(MT)	ハイブリッドシステム
オートマテッド マニュアルトランスミッション	クラッチディスク・カバー

売上高および構成比率
(2006年度)



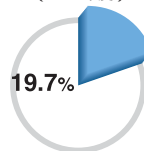
10,140億円
(前期比 12.5%増)

売上の4割を占める主力事業であり、軽自動車から小型・中型トラックおよびバス、産業車両用まで業界一の品揃えを誇ります。ATは専門メーカーとして世界ナンバーワンのシェアを継続しています。

ブレーキ及びシャシー関連

ブレーキマスターシリンダー	アンチロック ブレーキ システム(ABS)
ディスクブレーキ	エレクトロニック スタビリティコントロール(ESC)
ドラムブレーキ	エアサスペンションシステム

売上高および構成比率
(2006年度)



4,682億円
(前期比 10.1%増)

事故を起こしにくく、危険回避をしやすいクルマづくりのために、先進の技術を駆使し、「走る」、「曲がる」、「止まる」を融合した高性能で高品質なシステム商品を開発しています。

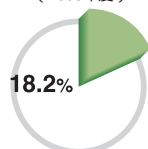
ボディ関連

ドアロック
パワースライドアシスト
パワーバックドアアシスト

サンルーフ
パワーシート
体重検知センサー

ドアフレーム
ドアハンドル

売上高および構成比率
(2006年度)



4,332億円
(前期比 14.1%増)

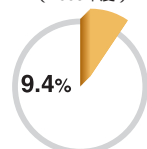
快適性・利便性・安全性など機能性の追求はもとより、デザイン性向上や軽量化に取り組み、お客様のカーライフの充実に貢献する商品を他社に先駆けて提供しています。

エンジン関連

ウォーターポンプ
オイルポンプ
ピストン

インテークマニホールド
エキゾーストマニホールド
可変バルブタイミング機構(VVT)

売上高および構成比率
(2006年度)



2,232億円
(前期比 13.1%増)

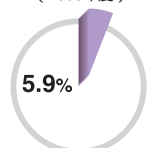
エンジンまわりの機能部品や鋳造部品を幅広く手がけており、エンジントータルの視点で、軽量化・排出ガスのクリーン化・省燃費に貢献できる技術開発を推進しています。

情報関連他

カーナビゲーションシステム
駐車アシストシステム
レーン逸脱報知システム

インテリジェント パーキング アシスト
フロント&サイドモニターシステム

売上高および構成比率
(2006年度)



1,400億円
(前期比 13.7%増)

カーナビゲーションシステムや画像処理技術を活かした駐車支援システムなど、安全・快適なカーライフをサポートする商品を開発。カーナビゲーションは日本はもとよりグローバル市場での拡販活動により世界トップクラスのシェアを誇ります。

粗形材関連

アルミダイキャスト製品
プレス製品

鋳鉄製品
樹脂成形品

アイシングループ内の
内部取引により相殺

グループ各社がさまざまな分野の粗形材技術を有している強みを活かし、新技術・新工法開発に積極的に取り組むことにより、各商品の競争力向上やグループ全体での付加価値の向上をはかっています。

住生活関連機器 その他

ベッド・寝装品
ミシン
刺しゅう機

シャワートイレ
介護ベッド
電動車椅子

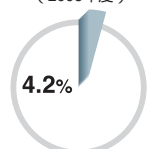
ガスヒートポンプエアコン(GHP)
住宅設備機器
住宅リフォーム

コージェネシステム
クライオポンプ
クライオクーラー

ベルチェモジュール
音響機器

ファイバーレーザー
パイオ関連機器

売上高および構成比率
(2006年度)



997億円
(前期比 6.6%増)

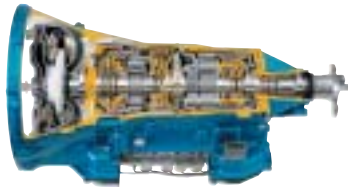
GHPやコージェネシステム、ベッド・寝装品、シャワートイレ、ミシン、リフォームサービス、介護・福祉機器などを取り扱っています。今後、環境問題の進展や高齢化などの社会構造の変化にともない、省エネルギーや健康で快適な暮らしに対するニーズは高まってくると予想されます。こうしたニーズを先取りし、社会やお客様にとって価値のある商品の開発に取り組んでいます。

ドライブトレイン関連

2006年度売上高は10,140億円(前期比12.5%増)となりました。これはアイシン・エイ・ダブリュの6速AT、アイシン・エーアイの6速MT等の販売が好調に推移したことによるものです。ATの当期の販売台数は537万台で、シェアは専門メーカーとして世界ナンバーワンです。

New 高容量後輪駆動車用(FR)8速AT(TL-80SN)

世界初



エンジンの高トルク化を活かした加速性能による卓越した走り、燃費の向上を同時に実現した世界初のFR8速AT

*この製品はLepelletier方式に基づきます

《搭載車種》

レクサス「LS460」

アイシン・エイ・ダブリュ

(トヨタ自動車㈱と共同開発)

New 高容量後輪駆動車用(FR)6速AT(TB-68LS)



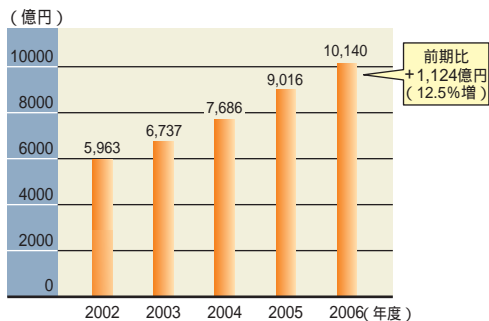
大型RV車に適した軽量・コンパクトかつ高容量な6速AT

《搭載車種》

トヨタ「タンドラ(北米)」

アイシン・エイ・ダブリュ

売上高推移



拡販 高容量前輪駆動車用(FF)6速MT(BG6)



新開発の3軸タイプギヤトレイン構造により、高容量FF6速MTで軽量・コンパクト化を達成

《搭載車種》

マツダ「Mazda3」

三菱「アウトランダー」

アイシン・エーアイ

ブレーキ及びシャシー関連

2006年度売上高は4,682億円(前期比10.1%増)となりました。これは、アドヴィックスのブレーキシステム、ならびにブレーキコンポーネントの販売が国内外で好調に推移したことによるものです。

New 電動パーキングブレーキ

日本初



従来のパーキングブレーキ動作を電動化し、ドライバーの負荷を軽減、利便性を向上

《搭載車種》

レクサス「LS460」

アドヴィックス

(トヨタ自動車㈱と共同開発)

拡販 ディスクブレーキ



高級車・スポーツ車にマッチした、高剛性、高性能、軽量化を高次元で実現

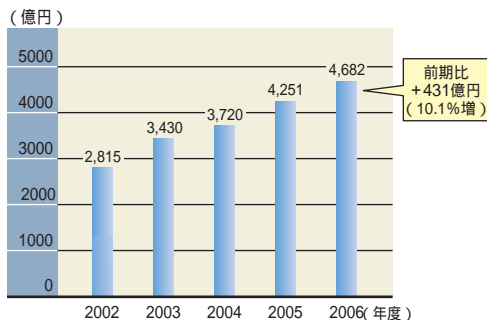
《搭載車種》

レクサス「LS460」

アドヴィックス

(ディスクローターはアイシン高丘製)

売上高推移



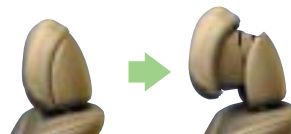
ボディ関連

2006年度売上高は4,332億円(前期比14.1%増)となりました。これは、アイシン精機のパワースライドドアシステムやシート、ドアハンドルなどの販売が好調に推移したことによるものです。

New プリクラッシュインテリジェントヘッドレスト

世界初

衝突予知機能により後方車両の追突が不可避の場合にヘッドレスト前面部を突出させ、頭部とヘッドレスト間の距離を縮めることで頭部にかかるショックをやわらげ、鞭打ち傷害を軽減



《搭載車種》

レクサス「LS460」

アイシン精機

(トヨタ自動車㈱、トヨタ紡織㈱と共同開発)

拡販 パワースライドドアシステム



スライドドア内蔵の駆動ユニットを軽自動車用にさらに小型化、広い車室空間を確保

《搭載車種》

三菱「ekワゴン」

アイシン精機

売上高推移



エンジン関連

2006年度売上高は2,232億円(前期比13.1%増)となりました。これは、アイシン精機をはじめ、北米、欧州でのエンジンフロントモジュール等のアルミ部品の販売拡大によるものです。

マグネシウム合金シリンダーヘッドカバー



マグネシウム合金を使用することにより、エンジン本体の軽量化に貢献

《搭載車種》

レクサス「LS460」

アイシン精機

エンジンフロントモジュール



エンジン前まわりの部品を集約し、軽量化・低コスト化を実現

《搭載車種》

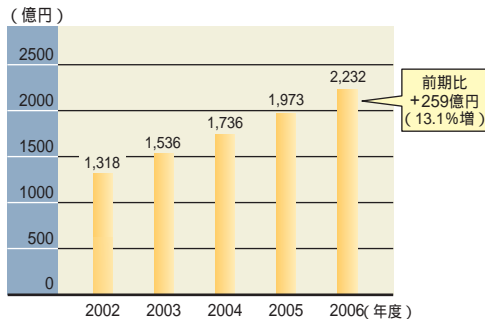
レクサス「LS460」

トヨタ「カローラ アクシオ」

「カローラ フィールダー」

アイシン精機

売上高推移



情報関連他

2006年度売上高は1,400億円(前期比13.7%増)となりました。これは、アイシン・エイ・ダブリュのカーナビゲーションシステムの販売が好調に推移したことによるものです。

New 世界初 インテリジェント パーキング アシスト (超音波センサー付)



駐車時のステアリング操作を支援する従来システムに、超音波センサーによる他車両位置検出機能を追加し操作性を向上

《搭載車種》

レクサス「LS460」

アイシン精機

(トヨタ自動車㈱と共同開発)

New HDDカーナビゲーションシステム



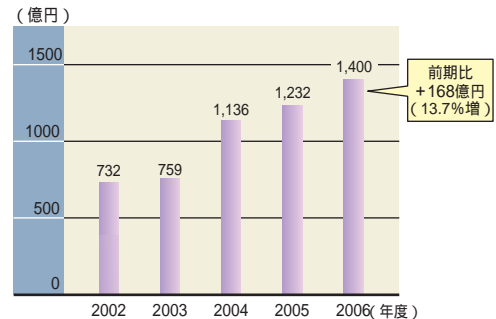
頻繁に走行する道路を記憶し、渋滞を考慮したルート検索が可能

《搭載車種》

レクサス「LS460」

アイシン・エイ・ダブリュ

売上高推移



粗形材関連

粗形材関連分野においては、製品の機能・性能・強度を確保しつつ、小型・軽量化や低コスト化を実現していくことが求められており、アイシンは、さまざまな分野の粗形材技術を有している強みを活かし、材質置換や新工法・新材料など、新たな技術開発に積極的に取り組んでいます。

会社名	主な担当製品
アイシン精機	プレス部品・アルミダイキャスト
アイシン高丘	鋳鉄
アイシン化工	樹脂成形・化成品
アイシン軽金属	アルミダイキャスト

New ハウジング一体型トランスミッションケース



コンバータハウジングとエクステンションハウジングの一体化により軽量化を実現（レクサス「LS460」のFR8速ATに使用されています）

アイシン精機

拡販 塩ビフリーアンダーコート



塩ビフリー化で環境負荷物質を低減

《搭載車種》
レクサス「LS460」

アイシン化工

*売上高については自動車関連分野の各々の製品に含まれています。

住生活関連機器 その他

2006年度売上高は997億円（前期比6.6%増）となりました。当社は環境に優しい商品の実用化をめざし、次世代エネルギー機器として、燃料電池を使った家庭用コージェネレーションシステムなどの開発にも積極的に取り組んでいます。

New GHP「D1シリーズ」



業界トップクラスの省エネルギーや軽量化、省メンテナンス性を実現

アイシン精機

2台の連結で、最大50馬力を実現する「まとマルチ」

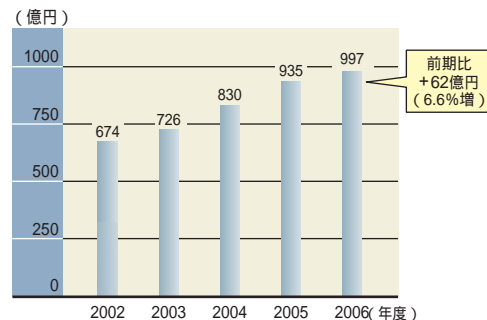
New リクライニングベッド「サティスファイ」



樹脂弾性体「ファインレボ」を使用した「スーパーフレックスフィットマットレス」に上質な寝心地にくつろぎのリクライニング機能を付加

アイシン精機

売上高推移



グローバル展開

アイシンはグローバル市場での事業拡大をめざし、世界各地で生産拠点の増強をはかるとともに、販売・開発体制を拡充しています。2006年度海外売上高は前期に比べ20.2%増の8,585億円となり、海外拠点での売上高比率は前期に比べ2.4ポイント増加し、36.1%となりました。

北米

自動車メーカーの需要拡大に対応し、生産体制を増強

2006年度の北米における売上高は前期に比べ10.1%増の4,157億円となりました。これは、主に得意先生産増や得意先新車種立ち上げにともなう販売拡大によるものです。

アイシン・カリフォルニア(2008年1月生産開始予定)
アイシン・カナダ 第2工場(2008年1月生産開始予定)
アメリカ西海岸やカナダでのドアフレームの受注拡大に対応し、カリフォルニア州に新会社を設立するとともに、カナダに第2工場を新設し、生産体制を強化します。



アドヴィックス・
マニュファクチャリング・オハイオ
北米での装着義務化により急拡大が予測されるESC(横滑り防止装置)の北米生産を2008年より新たに開始予定。

欧州(トルコを含む)

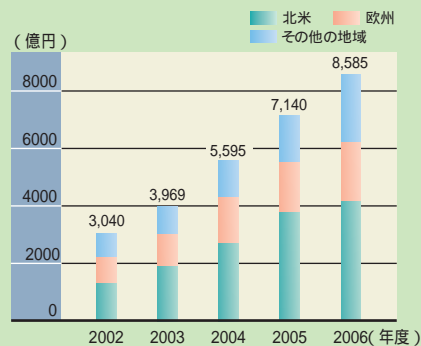
オートマチックトランスミッションやカーナビゲーションの拡販により売上増

2006年度の欧州における売上高は前期に比べ18.0%増の2,051億円となりました。これは、主に欧州メーカー向けオートマチックトランスミッションとカーナビゲーションの売上増によるものです。



エイ・ダブリュー・ヨーロップ
05年11月よりカーナビゲーションシステムの現地生産を開始。

海外売上高の推移



その他の地域(アジア他)

中国での売上が拡大

2006年度のその他の地域(アジア他)における売上高は前期に比べ46.2%増の2,376億円となりました。これは、主に中国での得意先生産増や新規拠点の立ち上がりによるものです。

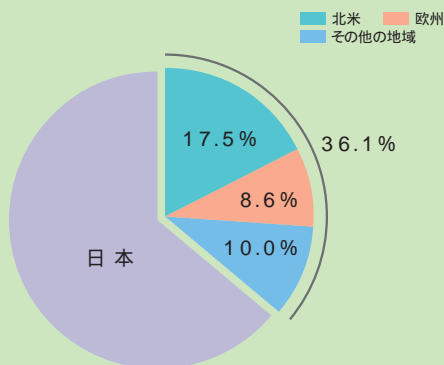


**アイシン精機
佛山車体部品有限会社**
2006年5月より電動サンルーフ、パワーシートのもーターハウジングの生産を開始。



ATインドネシア
2006年9月に新鑄造工場と第3鑄造ラインが稼動を開始。鑄造部品の生産能力を増強。

海外売上高比率(%) 2006年度



アイシン・ド・ブラジル
2006年9月に得意先の増産に対応するため、従来の2倍の規模の新工場へ移転し、生産能力を増強。

アイシンは人と社会と環境にやさしい企業をめざし、「良き企業市民」として信頼されるよう、地域に密着した活動に積極的に取り組んでいます。

地域発展・街づくり

オールアイシンNPO活動応援基金

アイシングループ12社で運営している基金で、ボランティア活動を行う団体(2006年度は10団体)に対し、経済的な応援をしています。



部長会、課長会によるボランティア活動

部長会や課長会の自主活動として、福祉施設の清掃活動などのボランティア活動に取り組んでいます。



自然・環境保護

タイ「AISIN子供の森」

社員の環境意識の高揚や、将来を担う現地の子供たちに環境保護活動を育んでもらうことをねらいに、海外のグループ会社とともに植樹活動を実施しています。



富士山植樹活動

2003年から「富士山に緑を」を合言葉に、5合目付近の火山灰地に植樹をしています。



青少年育成

アイシンものづくり出前講座

試験場がある北海道豊頃町の小学生を対象に、ものづくりの楽しさを体験する講座を実施しています。



アイシン環境講座を実施

子供たちが環境を守ることの大切さを知り、自分で考えたエコ活動を実践することをねらいに、近隣の小学校を対象に「座学」と「体験」をセットにした講座を実施しています。



ものづくり

技能競技大会への挑戦

2006年10月、第44回技能五輪全国大会にて、アイシン高等学園の北條孝典がアイシン精機としては初めて金メダル(厚生労働大臣賞)を受賞しました。

また、第29回全国障害者技能競技大会(アビリンピック)では試作工場の板倉恵美が金メダル(厚生労働大臣賞)を受賞しました。



創意工夫功労者賞の受賞

創意工夫によって職場での技術の改善向上に貢献した人に贈られる文部科学大臣表彰(創意工夫功労者)に過去最高のグループ15社193名が選ばれました。また、愛知県内の受賞者の約6割をアイシングループが占め、都道府県別日本一に大きく貢献しました。

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2005年4月1日から 2006年3月31日まで	2006年4月1日から 2007年3月31日まで
売上高	2,120,588	2,378,611
売上原価	1,829,682	2,060,667
販売費及び一般管理費	172,809	186,909
営業利益	118,096	131,034
営業外収益	20,341	21,703
営業外費用	13,341	18,450
経常利益	125,096	134,287
税金等調整前当期純利益	125,096	134,287
法人税、住民税及び事業税	47,800	51,765
法人税等調整額	7,649	6,989
少数株主利益	23,849	22,622
当期純利益	61,095	66,889

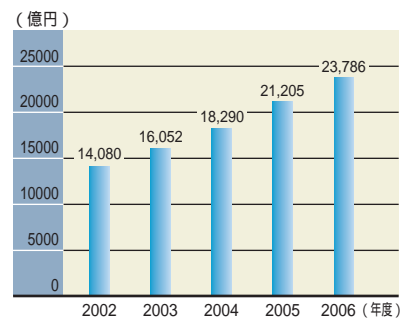
売上高

主要得意先の自動車生産台数の増加に加え、車の安全・環境・利便・楽しさを追求した新製品の拡販に努めた結果、前期に比べ12.2%増加しました。

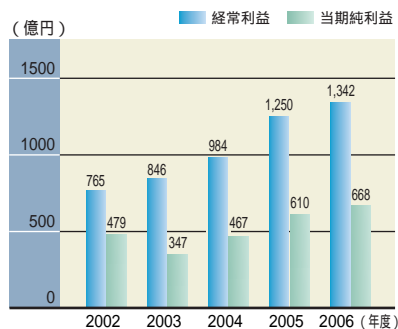
経常利益

原材料価格の高騰など減益要因はありましたが、売上の増加に加え、原価低減・工程の改善など経営全般にわたる合理化・効率化活動に取り組んだ結果、前期に比べ7.3%増加しました。

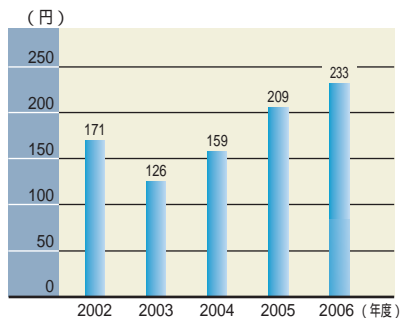
売上高



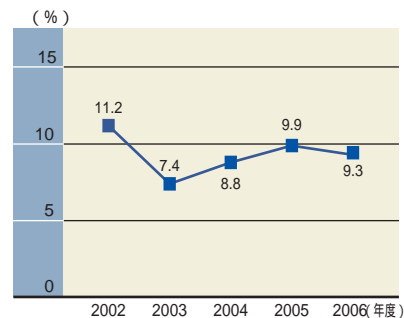
経常利益/当期純利益



1株あたり当期純利益



自己資本利益率(ROE)



連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	前期 (2006年3月31日)	当期 (2007年3月31日)	科目	前期 (2006年3月31日)	当期 (2007年3月31日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	694,030	767,369	流動負債	639,100	679,070
現金及び預金	95,443	98,628	支払手形及び買掛金	327,176	359,873
受取手形及び売掛金	336,864	363,726	短期借入金及び社債	47,037	45,518
有価証券	32,434	38,622	その他	264,885	273,678
たな卸資産	148,782	168,762	固定負債	363,294	402,972
その他	82,281	98,360	社債	35,500	20,000
貸倒引当金	1,775	732	●長期借入金	176,811	221,076
固定資産	1,159,428	1,270,526	繰延税金負債	63,609	72,672
●有形固定資産	777,763	839,192	退職給付引当金	84,750	86,978
建物及び構築物	211,914	240,051	長期未払金	2,542	1,052
機械装置及び運搬具	382,263	419,876	その他	80	1,238
その他	183,585	179,265	負債計	1,002,394	1,082,042
無形固定資産	10,249	16,139	(純資産の部)		
●投資その他の資産	371,415	415,194	株主資本	551,732	602,382
投資有価証券	319,716	357,422	資本金	45,049	45,049
長期貸付金	4,314	4,259	資本剰余金	63,262	57,891
繰延税金資産	21,450	24,228	利益剰余金	445,241	501,009
その他	26,388	29,773	自己株式	1,820	1,567
貸倒引当金	455	488	評価・換算差額等	127,148	156,361
			● 他有価証券評価差額金	123,720	145,136
			繰延ヘッジ損益		667
			為替換算調整勘定	3,427	11,892
			新株予約権		167
			少数株主持分	172,183	196,941
			純資産計	851,064	955,853
合計	1,853,458	2,037,896	合計	1,853,458	2,037,896

投資その他の資産

保有株式の株価上昇などにより有価証券の評価益が前期に比べ316億円増加しました。

有形固定資産

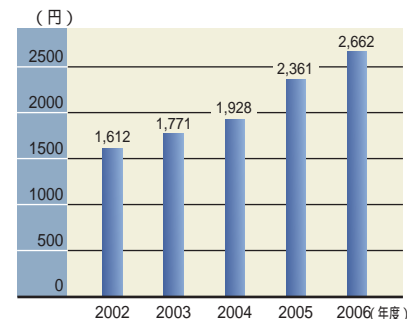
得意先生産台数の増加に対応するため、国内外の生産能力の拡大など、積極的な設備投資を展開し、有形固定資産は前期に比べ614億円増加しました。

長期借入金

金融機関から長期借入金を調達し、国内外での設備投資資金に充当しました。その結果、有利子負債の合計は、2,865億円となりました。

(注)前期は、当期と同様の基準で作成しております。

1株あたり純資産



連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2005年4月1日から 2006年3月31日まで	2006年4月1日から 2007年3月31日まで
・営業活動によるキャッシュ・フロー	185,715	228,402
・投資活動によるキャッシュ・フロー	215,495	236,614
・財務活動によるキャッシュ・フロー	36,834	13,361
・現金及び現金同等物に係る換算差額	4,757	2,946
・現金及び現金同等物の増減額	11,811	8,094
・現金及び現金同等物の期首残高	116,401	128,212
・現金及び現金同等物の期末残高	128,212	136,307

営業活動によるキャッシュ・フロー

・税金等調整前当期純利益	+1,342億円
・減価償却費	+1,452億円
・その他	510億円

投資活動によるキャッシュ・フロー

・設備投資(支払ベース)	2,244億円
・投資有価証券増減他	122億円

財務活動によるキャッシュ・フロー

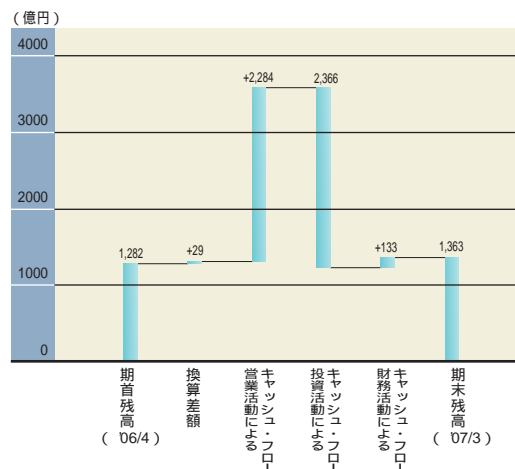
・借入金増額	+502億円
・配当金支払	99億円
・その他	270億円

研究開発費の推移

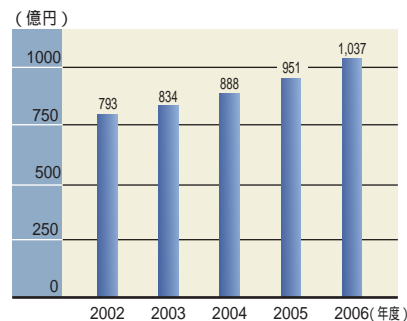
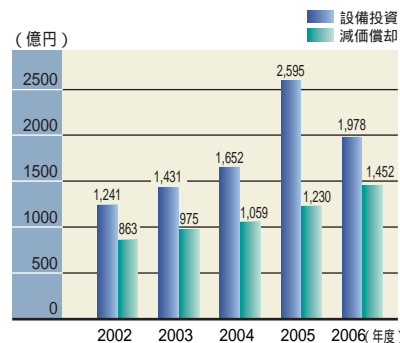
技術開発競争は一段と熾烈さを増しており、高い水準での技術開発投資が不可欠となっています。

一時的な環境変化や業績に左右されることなく、常に将来を見据えた技術開発に力を入れていくことを基本姿勢に、今後も積極的な投資をはかり、新しい商品をいち早く世に送り出すことで、みなさまのニーズに応えていきたいと考えています。

キャッシュ・フロー



設備投資/減価償却



損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2005年4月1日から 2006年3月31日まで	2006年4月1日から 2007年3月31日まで
売上高	720,541	786,966
売上原価	627,298	696,831
販売費及び一般管理費	58,022	61,596
営業利益	35,220	28,538
営業外収益	12,452	16,622
営業外費用	5,703	8,352
経常利益	41,969	36,808
税引前当期純利益	41,969	36,808
法人税、住民税及び事業税	14,800	12,200
法人税等調整額	1,494	2,504
当期純利益	28,664	27,112

期末配当について

2007年6月21日開催の第84回定時株主総会において、2007年3月31日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主または登録質権者に対して行う期末配当につき、次のとおり決議いたしました。

1. 期末配当金 …………… 1株につき24円
2. 支払い請求権の効力発生日および支払開始日
…………… 2007年6月22日

貸借対照表の要旨

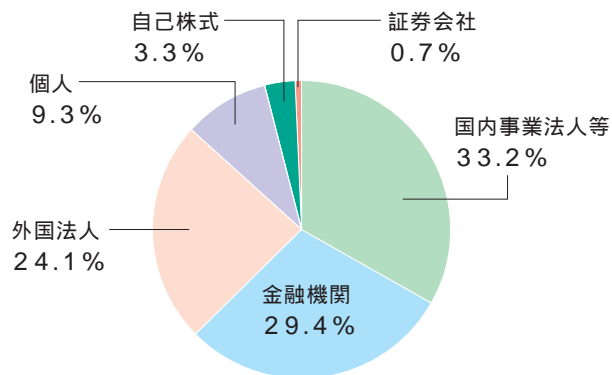
(単位:百万円)

科目	前期	当期	科目	前期	当期
	(2006年3月31日)	(2007年3月31日)		(2006年3月31日)	(2007年3月31日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	292,886	341,769	流動負債	205,005	279,883
現金及び預金	21,398	25,425	支払手形及び買掛金	101,608	111,515
受取手形及び売掛金	157,215	152,801	その他	103,396	168,367
有価証券	23,102	28,734	固定負債	300,327	347,577
たな卸資産	19,979	21,288	社債	35,000	20,000
その他	71,395	113,768	長期借入金	164,000	214,000
貸倒引当金	205	248	繰延税金負債	62,345	73,156
固定資産	658,295	727,287	退職給付引当金	37,653	38,003
有形固定資産	169,391	182,260	長期未払金	1,329	451
建物及び構築物	57,960	66,878	その他		1,966
機械装置及び運搬具	55,071	64,914	負債計	505,333	627,461
その他	56,359	50,467	(純資産の部)		
無形固定資産	3,932	3,978	資本金	45,049	45,049
投資その他の資産	484,970	541,048	資本剰余金	63,262	63,139
投資有価証券	90,896	98,409	利益剰余金	216,910	233,429
関係会社株式・出資金	317,977	350,556	自己株式	790	39,749
その他	76,223	92,219	評価・換算差額金	121,415	139,558
貸倒引当金	126	137	新株予約権		167
合計	951,182	1,069,056	純資産計	445,848	441,595
			合計	951,182	1,069,056

(注)前期は、当期と同様の基準で作成しております。

発行する株式の総数……………700,000 千株
 発行済株式の総数……………294,674 千株
 株主数……………27,580 名

株式の分布状況



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
トヨタ自動車株式会社	65,558	23.0
株式会社豊田自動織機	19,658	6.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	16,017	5.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	12,991	4.6
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	9,076	3.2
資産管理サービス信託銀行株式会社	7,602	2.7
日本生命保険相互会社	7,186	2.5
東和不動産株式会社	6,344	2.2
三井住友海上火災保険株式会社	5,902	2.1
株式会社損害保険ジャパン	5,855	2.1

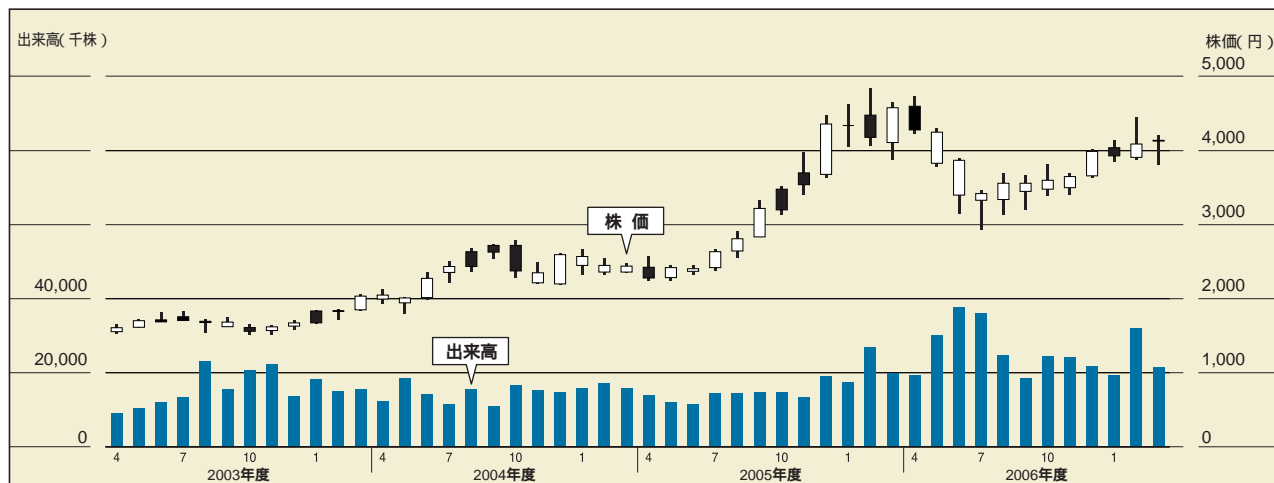
上記のほか、当社が所有している自己株式9,696千株があります。

配当金の推移

	2002	2003	2004	2005	2006(年額)
中間(円)	6.5	8.0	10.0	13.0	16.0
期末(円)	8.5	10.0	14.0	19.0	24.0
合計(円)	15.0	18.0	24.0	32.0	40.0

株価・出来高の推移

証券コード:7259 単元株式数:100株



会社概要(2007年3月31日現在)

会 社 名 アイシン精機株式会社
 本 社 所 在 地 〒448-8650
 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地
 TEL 0566-24-8441(代表)
 設 立 年 月 日 1949年6月1日
 資 本 金 450億円
 従 業 員 数 単独 11,279人
 連結 66,383人
 連 結 対 象 会 社 連結子会社 141社(国内64社、海外77社)
 持分法適用会社 12社

ホームページのご案内

<http://www.aisin.co.jp>

財務情報は「株主・投資家情報」のページをご覧ください。

また、EメールによるIR情報発信サービス「アイシン精機ニュースメール」を行っています。ご希望の方はアイシン精機ホームページ「株主・投資家情報」にアクセスしていただき、画面右側の「アイシン精機ニュースメール」申し込みページより、必要事項をご入力の上、ご登録ください。

みなさまのアクセスをお待ちしています。

取締役および監査役(2007年6月21日現在)

取締役会長	豊田 幹 司 郎	専務取締役	堀 場 正 樹	常勤監査役	林 稔
取締役社長	山 内 康 仁	専務取締役	板 倉 伸 二	常勤監査役	権 田 銀 弘
取締役副社長	藤 森 文 雄	専務取締役	内 本 恒 男	監 査 役	豊 田 章 一 郎
取締役副社長	川 田 武 司	専務取締役	名 倉 敏 一	監 査 役	水 谷 渺 行
取締役副社長	奥 矩 雄	専務取締役	西 村 淳 一	監 査 役	濱 田 道 代
取締役副社長	中 村 俊 一	取 締 役	山 村 慎 一 郎	監 査 役	山 田 洋 久
		取 締 役	周 防 雅 弘		
		取 締 役	谷 口 孝 男		
		取 締 役	石 川 敏 行		

常務役員(2007年6月21日現在)

石 山 正 二	島 貫 静 雄	水 島 寿 之	金 田 芳 彦
森 田 隆 史	辻 村 健 次	加 藤 喜 昭	高 橋 清 一
間 瀬 隆	榎 本 貴 志	赤 木 基 修	矢 木 伸 介
瀬 川 儀 一	齋 藤 雅 康	高 橋 寛	佐 々 木 庸 臣
神 尾 哲 樹	宇 佐 見 一 美	岡 部 均 強	杉 浦 正 泰
藤 江 直 文	三 矢 誠	吉 田 強	

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金支払い株主確定日	3月31日 なお、中間配当を行う場合は、9月30日
単元株式数	100株
証券コード	7259
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店

株主インフォメーション

期末配当金のお受け取りについて

今回お届けした郵便振替支払通知書による配当金のお受け取り期間は平成19年7月31日(火)までとなっております。郵便振替支払通知書をお持ちになって、お近くの郵便局でお早めにお受け取りください。

株式手続きについて

住所変更、株主名簿、株券喪失登録簿および新株予約権原簿への記載または記録、単元未満株式の買取および買増請求、その他株式に関するお問い合わせは次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも承っております。

電話(通話料無料) 0120-232-711(お問い合わせ:オペレーター対応)

0120-244-479(音声自動応答:用紙のご請求専用)

ホームページ <http://www.tr.mufig.jp>

アイシン精機株式会社

〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地
電話(0566)24-8441(代表)



本紙は環境保護に配慮し、古紙配合率100%再生紙を用い、アメリカ大豆協会認定の「大豆油インキ」を使用して印刷されています。